



北海道

北海道立江差高等看護学院

学院案内

(令和4年度版)



ハラスメントの再発防止対策

本学院は、「道立江差高等看護学院を巡る諸問題への対応に関する第三者調査委員会調査書」(R3.10)を踏まえ、次のとおり、ハラスメントの再発防止に向けて学院内での取り組みを推進しています。

学生の皆さんが安心して看護を学べる学習環境を整えます

- 教員と学生・保護者間での情報共有やガイダンス機能を充実させ、信頼関係の回復に努めます。
- 学生の可能性を信じ、学生から信頼される看護教員を育成します。
- 外部に開かれた学校運営を行います。

学院の概要

- 課程等 / 看護師 3 年課程
- 修業年限 / 3 年
- 入学定員 / 4 0 人
- 総定員 / 1 2 0 人
- 卒業後の取得資格
 - ・ 看護師国家試験の受験資格
 - ・ 保健師、助産師、養護教諭養成機関の受験資格
 - ・ 専門士（医療専門課程）



●教育課程（カリキュラム）

2022(R4)改訂

分野	単位数 (時間数)	各分野のねらい・授業科目
基礎分野	14 (360)	「看護の対象である人間の一般的なあり方を学び、自己の人間性を豊かにする幅広い教養と状況に対応できる判断力を培います」 論理学、教育学、哲学、情報科学、環境学、基礎科学、心理学、人間関係論、社会学、文化人類学、倫理学、英語、健康とスポーツ、江差の文化と伝統芸能
専門基礎分野	22 (540)	「人間の健康な状態とその変化としての健康障害や、健康を守る社会的な機能について学びます」 解剖生理学、生化学、栄養学、薬理学、微生物学、病理学、疾病・治療論、健康と生活、医療概論、医療社会学、社会福祉論、公衆衛生学、関係法規
専門分野	66 (2,085) (うち臨地 実習23単 位)	「看護実践のすべてに共通な原理と基本となる技術、ライフサイクル各期の特徴と健康障害の種類・健康の段階、様々な生活に応じて看護が実践できるための知識と技術を学びます」 看護学概論、看護過程、フィジカルアセスメント、看護研究、看護方法、地域・在宅看護、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、医療安全、看護管理、災害看護、臨床看護の実践
合計	102 (2,985)	

▼カリキュラムの特徴

- 地域の理解を深めるため、江差町の伝統芸能や歴史、文化について学びます。
- 幅広く看護を学べるように臨地実習は北海道立江差病院、八雲総合病院、JA 北海道厚生連 倶知安厚生病院、国立函館病院、雄心会函館新都市病院など複数の病院や訪問看護ステーション、老人福祉施設などに行きます。

学院の使命

教育理念

道立看護学院は、北海道の地域医療を担う看護職員の養成を目的として設立された専修学校です。そのなかで本学院の役割は、地域に根ざした看護を実践できる人材を育成し、道内でも看護職員の充足率が低い檜山・渡島・後志・胆振地域の医療・福祉施設等で必要とする質の高い看護職員を供給することにあります。

本学院は、この設置の趣旨に基づき、恵まれた自然と、歴史と伝統を誇る江差文化のなかで、一人ひとりの学生の持てる力と主体的に学ぶ姿勢を大切にし、よりよく生きるための豊かな人間性を培い、看護の専門的知識・技術を修得して、地域の人々の健康と福祉の向上に貢献できる看護の実践者を育成します。

教育目的

専門職として誇り得る幅広い教養と人間尊重の思想をもち、人々の健康な生活を維持できるように看護の実践に必要な基礎能力を養い、将来、看護職能及び社会に貢献できる人材の育成をめざします。

教育目標

- ・人間を統合された存在として理解する基礎的能力を養います。
- ・自己を見つめ相手を思いやる感性を高め、人と関わるための基礎的能力を養います。
- ・対象の尊厳と権利を守り、看護専門職として倫理観に基づいた責任ある行動がとれる基礎的能力を養います。
- ・その人らしい生活を目指し、健康に関わるさまざまな状況を科学的根拠に基づき判断して、必要な看護が実践できるための基礎的能力を養います。
- ・保健・医療・福祉におけるチームの一員として、多職種と連携・協働できる基礎的能力を養います。
- ・社会の変化に関心を持ち、よりよい看護の実践を目指し、自ら学び続ける能力を養います。

入学試験

● 受験区分

区分	令和5年度募集要項	
一般（Ⅰ）	<p>将来看護職に従事するという強い意志があり、健康状態が良好の者で高等学校又は中等教育学校を卒業若しくは令和5年3月卒業見込みの者並びに高等学校卒業と同等以上の学力があると認められる者（Ⅱ期試験は定員に満たない場合のみ実施）</p>	
一般（Ⅱ）		
推薦	<p>道内（檜山、渡島、後志、胆振（総合）振興局管内のみ）にある高等学校又は中等教育学校を、令和5年3月に卒業見込みの者で、次の①～④のすべてを満たす者</p> <p>① 将来、檜山、渡島、後志、胆振（総合）振興局管内において、看護職として就業する意志を有する者</p> <p>② 健康状態が良好の者</p> <p>③ 学業成績が原則として全体の評定平均値 3.9以上の者</p> <p>④ 合格した場合、入学することを確約できる者</p>	
社会人	令和4年4月1日現在、次の①～③をすべて満たす者	
	<p>① 高等学校又は中等教育学校を卒業並びに高等学校卒業と同等以上の学力があると認められ、社会人としての就労経験が3年以上となる者</p>	<p>① 大学、短期大学、工業高等専門学校、専修学校（専門課程）を卒業又は令和5年3月卒業見込みの者（就業経験は不問）</p>
	<p>② 将来、檜山、渡島、後志、胆振（総合）振興局管内において、看護職として就業する意志を有する者</p> <p>③ 健康状態が良好の者</p>	

入学試験

● 試験科目等

区分	R 5 試験科目	入学検定料
一般 (I)	国語 (現代国語)、外国語 (コミュニケーション英語 I、コミュニケーション英語 II)、数学 (数学 I、数学 A)、面接	12,160円
一般 (II) *	作文、面接	
推薦	小論文、面接	
社会人	小論文、面接	

● スケジュール

区分	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
一般 (I)			募集	→	試験	合格発表	
一般 (II) *						(募集)	(試験) (合格発表)
推薦	募集	試験	合格発表				
社会人	募集	試験	合格発表				

*一般 (II期) 試験は定員に満たない場合のみ実施

卒業生の状況

●就職状況

区分	令和3年度	令和2年度	令和元年度
道内就職率	88.9%	100.0%	95.2%
道南地域就職率	25.0%	46.2%	52.4%
南渡島・南檜山地域 就職率	25.0%	34.6%	38.1%

●国家試験合格率

区分	令和3年度	令和2年度	令和元年
本学院	90.9%	100.0%	88.0%
全国平均（新卒）	96.5%	95.4%	94.7%

在学中に必要な経費の概要

R4年度現在

区分	授業料	教科書	実習	その他	寄宿舎経費
内訳	<ul style="list-style-type: none"> ● 18,300円/月 (219,600円/年) ● 6ヶ月分を4・10月に納入 	[1学年] 約14万4千円 [2学年] 約5万円 [3学年] 約2万円	<ul style="list-style-type: none"> ● ユニフォーム・靴 約2万5千円 ● 宿泊費・旅費 [1学年] 約12万円 [2学年] 約15万円 [3学年] 約30万円	<ul style="list-style-type: none"> ● 保険料 7千円/年 ● 学生自治会費 1千円/年 	<ul style="list-style-type: none"> ● 使用料及び光熱水費 23,400円/月 (280,800/年) ● 6ヶ月分を4・10月に納入 ● 食費 1,032円/日 (朝258、昼361、夜413円、月曜朝から金曜昼まで) ● Wi-Fi使用料 1,000円/月 ● 自治会費 8,000円/年
3年間合計	658,800円	214,000円	595,000円	24,000円	使用料等 842,400円 食費 約60万円 自治会・Wi-Fi 6万円
		合計約150万円			合計約150万円

*今後の状況により変更する場合があります。

*授業料は免除・減免規定があります(住民税非課税世帯等)。寄宿舎経費には免除規定はありません。

*実習は、遠隔地に公共交通機関で移動し、数週間、ホテルや民宿に宿泊します(自己負担)。

*その他、模擬試験(1・2年生各1回、3年生6回×1,700円)、ワクチン(肝炎2万円×3)等は実費がかかります。

各種修学資金貸付制度

日本学生支援機構や北海道の修学資金のほか、医療機関や自治体（市町村）独自の修学資金制度があります。

金額や返還方法、返還免除の要件（一定期間、特定の施設に就業する等）等、様々な特徴があります。卒業後の進路をよく考えて活用することが重要です。

区分	種類	返還免除要件	返還免除要件	貸付金月額
独立行政法人 日本学生支援 機構奨学金	第一種奨学金 第二種奨学金 給付型奨学金	給付型の み返済不 要	[給付型]世帯収入や資産の要件を 満たしていること、学ぶ意欲がある学生等 であること(住民税非課税世帯で自宅 29,200円、自宅外66,700円(月額))	[一種] 20,000～51,000円 [二種] 20,000～120,000円
北海道看護職 員養成確保修 学資金貸付金	一般修学資金 (特別・指定修学 資金もあり)	あり	[一般]400床未満の病院(札幌・旭川・函 館市に所在する病院を除く)等に貸付期間 の1.5倍の年数就業	[一般] 36,000円
市町村	各市町村の規定 による	同左	市町村内医療機関や市町村立施設等、定 められた施設に定められた期間就業	2万～8万円

* 北海道の修学資金詳細→「北海道」「看護職員を目指す皆様へ」で検索
「修学資金のご案内」参照

* 市町村の貸付金詳細→「北海道医療人材確保ポータルサイト」で検索
「市町村における地域医療の確保に関する事業等調査結果」参照

* 医療機関の貸付金は、学院に案内が届く場合は随時学生に周知します。



[北海道]



[市町村]

アピールポイント

- **北海道が設置主体のため、授業料等の費用負担は安く抑えられています。**
(北海道内看護師養成専門学校調査 (2019) 入学金平均：約12万、年間授業料平均：約44万)
- 一人一人の状況にあわせた丁寧な学習支援を行っています。
- 3年間を通じた**国家試験対策**に力を入れており、合格率は全国平均以上で推移しています。卒業後は、道南を中心に全道の施設に就職するほか、**保健師や助産師課程に進学**する学生もいます。
- 学内は広く、きれいに整備しており、看護技術を習得するために必要な施設や教材が整っています。看護実習室からは「日本の夕陽百選」にも選ばれた美しい夕陽を眺めることができます。
- **全室個室・食事付き・Wi-Fi完備の寮**があります（女子学生のみ）。24時間管理人（または警備員）が駐在し、**安全・安心**です。
- 自然に恵まれた静かな環境に立地し**勉強に専念**できます。近くには、スーパーやコンビニ、ホームセンター等があり、生活する環境が整っています。
- 一般入試、指定地域の高校推薦や社会人入試のほか、3月にはⅡ期試験を実施（定員を満たしていない場合に限る）するなど、**様々な入学試験**を実施しています。
- **臨地実習**では、江差町や函館市、八雲町等、**様々な地域・施設**で多様な体験ができます。数週間、泊まりがけの実習もあり、メンバーと協力しながら学習する力が身につきます。
- **ほめ活**を実施したり、町内の**ボランティア活動**への参加を推進することで、コミュニケーション力や自己肯定感の向上を図っています。

学ぶ環境

今日、医療技術は高度化し、種々の機器と情報を扱うことが多くなります。また、複雑多岐な人間を総合的に理解し、あらゆる健康の段階にある人々に対して、それぞれに必要な看護の提供ができなければなりません。

本学院の学習施設は、看護の専門職となるために必要な設備を整えています。



- ◆正面玄関を歩いてすぐのホールと中庭
中庭を見渡せるラウンジにナイチンゲール像があります

教室



◆ 各学年1クラスです。



図書室・視聴覚室

◆図書室

- ・蔵書約1万3千冊（専門誌約9千500冊）、看護系雑誌21種類。毎年、計画的に新しい図書を追加購入しています。
- ・求人資料も配置しており、自由に閲覧できます。

◆視聴覚室

- ・DVD等の視聴覚教材があります。自己学習ができるスペースがあり、特に実習前は学生が多数出入りします。





学習室（ゼミ室）

- ◆ 小グループでの学習用に、6つのゼミ室があります。

調理実習室

- ◆ 入院患者さんの制限食や離乳食などの調理実習などを行います。



看護実習室



看護実習室



- ◆ 病院と同じような環境・設備があり、基本的な看護技術の訓練をします。
- ◆ 看護技術を体験できるモデル人形も多数整備し講義・演習で活用します（血圧測定・採血モデル、瞳孔反射・血圧測定・脈拍・聴診（呼吸・心音・腸音）を体験できるモデル、妊婦体験ジャケット、高齢者疑似体験セットなど）



在宅看護実習室

- ◆ 一般の住宅と同じように、居間、台所、寝室、浴室、トイレがあります。
- ◆ 訪問看護分野など、自宅での看護を学びます。



学習の様子



寄宿舍(汐音寮)^{しおね}

寮の定員は80名で、女子のみです（3階建て）。
全室個室ですが、トイレ・洗面所・浴室は共有です。



- ◆学院に隣接(徒歩2分)
- ◆食事は朝・昼・夕3食です
(金曜日は朝・昼のみ)

洗面所・浴室



◆洗面所、浴室、洗濯機・乾燥機は共有です



◆シャワー室(個室)もあります
(各階)

寮生活の様子



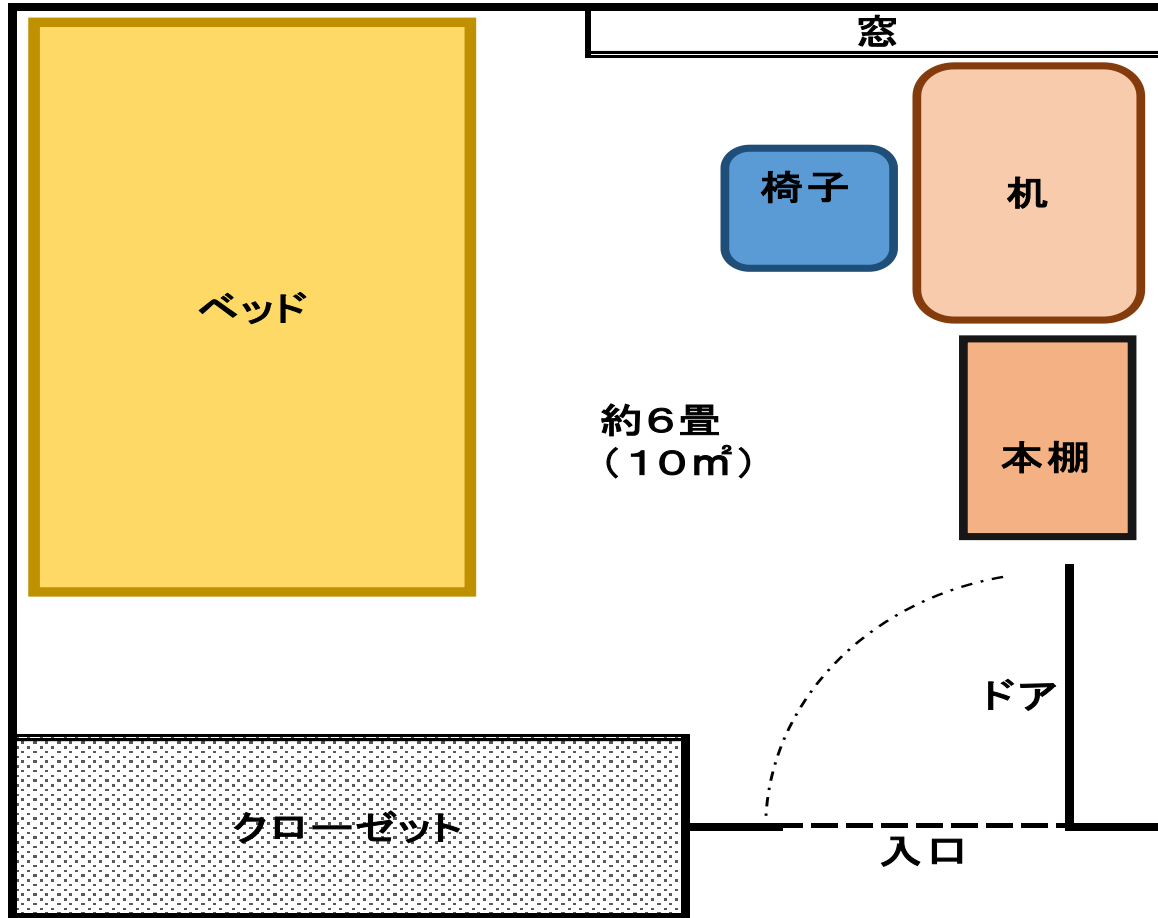
- ◆各階に談話室があります
- ◆使いやすいように模様替え



◆ある日の昼食

◆ 寮室

- 部屋によって左右のレイアウトや、縦横の比率が多少異なります



◆ 設備

- 机、椅子、本棚、ベッド
- クローゼット、カーテン
- 天井照明、暖房、内線電話
- Wi-Fi

◆ 収納スペース

- 本棚
幅75×高175×奥50
2段スライド式
- クローゼット
幅190×高215×奥50
洋服かけ部分 高165
棚板可動
- ベッド下引き出し
幅95×高15×奥40
2カ所



◆ 入寮に必要なもの

- ・寝具類(布団、枕、シーツ、タオルケット、マットレスパッド等)
 - ・ゴミ箱 ・寮内での履き物(スリッパ等) ・洗面道具 ・入浴道具
- ※寮室床にカーペット等の敷物を敷いてもかまいません。

◆ 共用設備について

- ・食堂(トースター・清涼飲料水自動販売機) ・浴室 ・トイレ ・洗面所
- ・シャワー室(各階2室) ・談話室(各階に冷蔵庫、テレビ、電子レンジ)
- ・電気給湯器(各階洗面所) ・洗濯室(洗濯機・乾燥機)
- ・寮内実習室 ・自習用書籍 ・コピー機(寮自治会設置)
- ・自転車置き場(屋外屋根つき)

◆ 寮の近くにあるもの(徒歩圏内)

- ・バス停留所 ・病院 ・調剤薬局 ・大型ホームセンター
- ・食品スーパー ・食堂 ・コンビニ ・ラーメン店
- ・ドラッグストア ・衣料品店 ・眼鏡店 ・運送業事務所

◆ ご注意ください

- ◆ 自家用車の持込はできません。
- ◆ 寮内は火気厳禁、禁煙及び禁酒です。
- ◆ 家電製品類について
電気スタンド、パソコン、プリンター等の学習に必要な物や、生活必需品に限り寮室への持込を認めます。電力を多く消費するものは持込できません。
【寄宿舎細則により持込厳禁なもの】
 - ・アイロン・ヒーター等の暖房機器
 - ・冷蔵庫・電気ポット、炊飯器等の調理器具 ・加湿器
- ◆ インターネット接続について
WiFiを設置しています。入寮者は一律月額1000円で使用できます。
- ◆ 入寮者のプライバシー保持のため、寮の下見はご遠慮願います。

自治会活動・地域活動

●自治会活動

- 新入生歓迎会
- 三年生を送る会 など



●地域のイベント・お祭り

- かもめ島まつり（7月）
- 江差・姥神大神宮渡御祭（8月）
- 江差追分全国大会（9月）
- 冬江差“美味百彩”なべまつり など



学院周辺の環境

区分	学院からの距離	所要時間
フードセンターブンテン江差店(スーパー)	800m	徒歩10分
ローソン江差柳崎店(ATMあり)	850m	徒歩10分
DCMホームマック江差柳崎店	750m	徒歩9分
イエローグローブ江差店	650m	徒歩8分
サツドラ江差柳崎店	1.4km	徒歩16分
ファッションセンターしまむら江差店	1.4km	徒歩16分
ラッキーピエロ江差入口前店	1.6km	徒歩19分
つぼ八江差店	1.2km	徒歩14分
道立江差病院(うみ街信金ATM・売店あり)	230m	徒歩3分
江差町役場	6.1km	バス17分
江差町図書館	7.2km	バス23分

*最寄りのバス停は道立病院前(函館行・江差ターミナル行)

アクセス



交通のご案内

- JR北海道：函館駅から木古内駅乗換え江差駅下車／2時間25分
- 函館バス：江差駅下から江差病院前下車／約15分
- 函館バス：函館駅前から江差病院前下車／約1時間40分
- 函館バス：八雲駅前から江差病院前下車／約1時間40分



北海道立江差高等看護学院

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/ekg/>

〒043-0022 檜山郡江差町字伏木戸町483番地 TEL (0139) 52-1417